

第118回日展

第1科（日本画）特選授賞理由

題名
秋を編む

作者名
井上律子

授賞理由

確かな観察力と描写力で、淡い色彩の複雑な表情を現わし、澄みきった豊かな自然が表現されています。作者の独自性が伝わってくる作品となっています。

夢見の在処

大竹しおり

授賞理由

やわらかな光溢れる空間表現が何より美しい。丁寧に絵具を重ね、線描や平面的な構成など日本画を意識した表現方法を用いて、さりげない日常を温かく優しい目で描いている。

光のモザイク

大矢高弓

授賞理由

ガラスの建物の中、床に鉄骨が美しく写りこみリアルに描いた力作で、構成されたスッキリしたこの作品は格調高く、またモザイクのような形は抽象的にも見え光の当る様子を色彩でバランス良く収まっており魅力ある作品になっておりました。

風雅

島本純江

授賞理由

葉の一枚一枚に心を注ぐ筆の運びが生命の気配を織細に伝えます。静かな写実の奥に作者の自然への深い眼差しが感じられます。

使者

福岡正臣

授賞理由

黒い一羽の存在感と後ろの羽の広がり、空間との練られた特徴的な構成は、コンドルと出会った作者のエピソードが詰まっていると感じた。長く対話したい作品である。

題名

薔薇の咲く

作者名

前田恭子

授賞理由

淡い赤から緑に変調しながらも統一された背景に縦横に伸びる薔薇は力強く瑞々しい。作者が箇地を活かし画面を呼応しておいた色が心地よく響いている。想いの強さが画面から伝わり、新たな対話が生まれてくるように感じられる。

みんなで

松永美紀子

授賞理由

風船と子供の、日常の何気ない情景を丁寧な仕事で生き生きとした緊張感のある構成でまとめられています。作者の素直な表現が、見る者に新しい世界感を見せてくれています。

リバーサイド

水野 宏

授賞理由

日常生活の風景にフォーカスし、優れた描写力で表現されている。またその技術のみではなく夜明け直後の湿度、人の気配がない生活道路の空虚感を鑑賞者に与えてくれる魅力ある作品に仕上がっている。

梅雨入り

吉岡珠恵

授賞理由

日常のありふれた出来事に目を止めた作品です。雨の波紋に通り過ぎる自転車の部分を効果的に取り入れて、見る人をして自分が雨の下で濡れながら存在しているかの思いを抱かせる作品に出来上がっています。

微睡む庭

若崎文絵

授賞理由

作品を見た瞬間、爽やかなブルーの空気感に誘われます。庭の植物が自然な観察眼で丁寧に描かれた画面は美しく、その中の人物は的確なデッサンでしなやかなシルエットで静かに迫ってくる秀作です。